

昭和三十一年五月公表

財政事情

広島市役所

広島市告示第七十五号

地方自治法第二百四十四条第一項並びに広島市「財政事情」の作成及び公表に関する条例の規定により、本市の「財政事情」を次のように公表する。

昭和三十一年五月三十一日

広島市長 渡邊 忠 雄

広島市の財政事情

目 次

まえがき

一 本市財政の動向

二 予算並びに収入支出の状況

(一) 昭和三十年各会計予算の状況

ノ 昭和三十年各会計予算一覽表

ズ 昭和三十年各会計予算概要

シ 昭和三十年度予算取崩一覽表

ス 昭和三十年度予算取崩一覽表

(二) 昭和三十年各会計収入支出の状況

ノ 昭和三十年各会計収入支出状況

ズ 主なる事業調

三 市民負担の状況

(一) 昭和三十年度市税の負担状況

(二) 市税の市民一人当り負担額調(各年度比較表)

四 財産・公債及び一時借入金の状況

(一) 市有財産

(二) 公債

ノ 借入金別市債現在高調

ニ 費目別市債現在高調

(三) 一時借入金

ノ 財政調整資金借入状況調

ニ 起債前借金借入状況調

五 ますび

まえかき

ここに第十七回の財政事情を公表いたします。

今回は、昭和三十年度予算の概要及び収入支出の概況(昭和三十一年三月末現在)について、その実情をお知らせし、市民の皆さんの賢明なる御批判と御理解をいただき、今後の市政運営に関し、なお一層の御協力をお願いする次第であります。

一 本市財政の動向

本市財政の推移につきましては、毎年二回公表して参りました。「財政事情」により御理解願つていただくことと存じます。

今日の地方財政は、逐年逼迫の度を加えており、政府においてはかゝる地方自治体の財政赤字の解消策をいたしまして、昨年十二月、地方財政再建促進特別措置法を制定いたしましたのであります。本市をいたしましてはこれらの措置をまつまでもなく、昭和二十八年より自主再建の方途により財政再建に努めて来たのであります。

即ち、終戦以来戦災復興事業その他施設整備に多額の経費を要し、昭和二十七年年度末までに累積いたしました財政赤字が約三億二千百万円に達しましたが、これを昭和二十八年年度以来自力財政再建に努め、二十八年年度において二千五百万円、二十九年年度に三千九百万円を解消して参りました。

しかし、昭和三十年年度決算見込みにおいて、現状では約一千百万円程度の赤字増加が見込まれる状況であります。これが主なる原因といたしましては、義務的経費の累増、特に公債償還費の増に加え、産業都市建設事業その他重要施策によるものであり、かゝる現状よりして今後の

財政運営におきましては、なお相当の窮乏を予想されますので、今一層の効率的財政運営を考究いたし、早期健全財政の確立に努力する所存であります。

次に、昭和三十年年度予算の概要について述べてみますと、先づ当初予算編成におきましては前年度の財政規模額を更に一割程度減額することといたしまして、一応基本的なものについてのみ、前年度の実績を勘案して予算を計上いたしましたのと、かつ本市行政上の懸案となつておりましたもの及び新規事業は、財政力の限度において若干計画いたしました結果、予算総額は、三十七億一千六十七万九千円となっております。

その後、都市建設の再検討、産業の振興対策及び市民生活の安定と精神文化の昂揚等の施策のための諸経費

「追加措置」に主なるもの」

件名	予算額
議場模様替工事	三五九七千円
職員給与関係	四八三八五

比治山出張所建設事業	一〇〇〇〇
火災報知機設置その他消防関係	五四五〇
学校建設その他教育関係	一六五四九一
原爆死没者納骨所設置事業	一九六〇
保育所建設事業	一八七五
下水管布設工事	一三〇〇
下水道化槽建設事業	二九〇三六
農産関係補助負担金	四二〇四
地盤変動対策水路改修工事	三、八〇〇
中央卸売市場増築事業	二〇七九五
市営住宅補修工事	一〇〇〇〇
県庁舎建設寄附金	三九二五
戦災復興事業	二〇七〇〇
緊急就労対策事業	三〇八二六
特別失業対策事業	五一三八四
不良住宅改良事業	三二、一九
庚午町附近区画整理事業	八一六五
国鉄土地建物買収及び補償	五三、八〇一
大須賀町土地整地工事	三、三六四
高天原墓苑用地補償	四、三〇七
野球場建設事業	二、〇〇〇

の予算修正を行ひ、その結果、最終予算総額は四十三億三千二十八万九千四と相成つております。

これが予算の執行に当りましては、収入面におい、新規賦課の獲得、市税の完全徴収に努め、又支出面におい、人員の不補充、経常物件費の二割乃至三割程度の節減等を実施し、最少経費により最大の事業効果を上げ、早期財政の確立に努め参りました。

なお、昭和三十一年度三月末日現在の予算執行状況については、次の通りであります。

九、附金	五三五〇	四五〇	八五六四	一四、三六四	一	
可繰入金	三〇、〇〇〇			三〇、〇〇〇	一	
二、繰越金	一			一		
三、雜収入	* 七六、三四五	一、一九三	二六五、〇六九	三四六、六〇七	二	前年度繰上先明金 二五、〇〇〇千円
三市債	三九、〇〇〇	二九、〇〇〇	△ 一、二六、七〇〇	三七三、三〇〇	一三	歳入補填積債 一六、一〇〇千円
歳入合計	二二九、三七一	三五四、四〇六	一五八、〇五二	二八〇、二八三	一〇〇	

歳出

科	目	当初予算額	至四期追加更正	至計期追加更正	計	予算総額対比	備考
一、議会費		三〇、一九二	九六〇	一、三八七	三二、五五九	一	
二、役所費		三七九、四七一	四、二六五	四三、七九九	四二七、五三五	一五	
三、公平委員会費		四五六			四五六	一	
四、消防費		一〇二、四三七	七一一	八、二二五	一一一、三六三	四	
五、土木費		七、六三一	一、五四一	一、六五三	七、四八五	三	
六、教育費		三、三三三	一、八四六	六、九三〇	四、八四九	一七	
七、社会労働施設費		六五、二四五	二、三二八	△ 三、八九六	六一、五八三	二二	
八、保健衛生費		一五九、〇七一	二、一三六	△ 一、七、一七〇	一六四、〇三七	六	
九、産業経済費		六三、八一九	九八二	二〇、九九九	九四、五〇九	四	
一〇、賦産費		二、四一一	九二	一、二〇五	二、四五八	一	
二、統計調査費		四、五二二			四、五二二		
三、選挙費		一七、〇五六	三〇	一、四二二	一七、三〇八	一	
四、公債費		一、二、四二二	二七七	八五八二	一、一、三六一	四	
四、輸送費		四、〇一〇			四、〇一〇		
五、監査委員費		三、〇一七			三、〇一七		
六、災害復旧費		五九、六七二	二、四二八	△ 三、〇、六三五	三〇、四六五	一	
七、諸支出金		二九、一、三三八	二〇、一五三八	九五、九三一	五八、八六九	二一	特別会計繰出金 計三、八五、六二五千円 前年度繰上先明金 一、五、三三三千円
八、予備費		三、〇〇〇			三、〇〇〇		
歳出合計		二二九、三七一	三五四、四〇六	一五八、〇五二	二八〇、二八三	一〇〇	

特別會計 建設費

歳入

科 目	当初予算額	至四月初追加更正 予算額	至三月底追加更正 予算額	計	予算総額に對 十百分比	備 考
一 公企業及財産収入	三、六〇〇	六八三、三六	△三、三六二	五八六、六四	七%	
二 使用料及手数料	一、一五			一、一五		
三 國庫支出金	三、六三二	二、五三二	△五、六九五	一九七、〇三九	三	
四 寄附金	三、〇〇〇	二、〇〇〇	△三、〇〇〇	二、〇〇〇	二	
五 繰入金	二、六九二、五	△二、九七、一四	一、三七、四四一	三、七六、九三二	四七	
六 繰越金	二					
七 雑収入	三、〇〇二		一、一四一	四、一四三	一	
八 徴収金	七、六六三	五、一三八	二、六一五	一五、四一六	二	
九 市債	一、九一、〇〇〇	八、〇〇〇	△八五、八五〇	一、一三、三五〇	一四	
十 果支出金			二、〇三三	二、〇三三	三	
歳入合計	七、二、八九八	九三、二七二	△九、二九七	八、〇五、八七三	一〇〇	

歳出

科 目	当初予算額	至四月初追加更正 予算額	至三月底追加更正 予算額	計	予算総額に對 十百分比	備 考
一 建設費	四、九四、八九六	七三、二七〇	△二、二六三	五、四五、九〇三	六八	
復興土地画整理費	八、六五二		九、一九二	九、〇八四	一一	
幹線街路費	四九八		五〇〇	九九八		
補助街路費	一、四四二		一、八三七	一、二六〇、五	二	
瓦斯及軌道費	一、三、七〇六		一、四、七七八	二、八、四八四	四	
公共空地整備費	一、九九二		二九六	一、六九六		
水路費	三、九八四		△一、一九四	二、七九〇		
都市水利整備費	二、〇九一、六		△一、七、四四四	三、八七二		
橋梁費	四、二、八三八		△二、九八三、〇	一、二、九九八	二	
記念公園造成費	七、七四〇		△五、三七八	二、三六二		
都市公共施設整備費	二、九八八	四、三〇七	△一、〇、四三	六、二九二	一	
路面鋪装費	一、六、六五〇		△一、〇、五六二	六、〇八八	一	

住宅建設費	一八二五九六		△	七二七八七	一〇九八〇九	一四	
防空建築費	三〇〇〇		△	一五〇〇	一五〇〇		
住宅地造成費	一九六六一		△	二四六一	一六七〇	二	
陳列館整備費	一七〇〇〇				一七〇〇〇	二	
庚午町附近土地區画整理費	三六九一			八一六五	一一八五六	一	
建設諸費	三九一四四			七〇四一一	一四四三三五	一八	
不良住宅改良費				二七三三六	三〇〇一九	四	
野球場建設費				二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	二	
緊急統制対策費				九七三五	九七三五	一	
特別失業対策費				一四四二〇	一四四二〇	二	慶賀
重要幹線街路費	二二九〇八		△	二二九〇八			
第一期下水道築造事業費	九一四六八			二六〇七三	一三七七四三	一七	
下水道費	二五四六八		△	六七八一	一八六八七	二	
緊急統制対策費	二二〇〇〇			二一〇六一	四三〇九一	五	

下水道築造費	四五〇〇〇			五〇〇〇	四〇〇〇〇	五	
特別失業対策費				五〇〇〇	五〇〇〇	五	
三公債費	一三五五五四			一六九六六	一五二二七	一五	
元利償還金	一三四六三四			一一五三三六	一一九三三六	一五	
利子	九〇〇			二〇〇〇	二〇〇〇		
歳出合計	七三二八八八			九〇九九七	八〇七八七三	一〇〇	

特別会計 公益費 歳入

科 目	各町守屋敷	建設費	特別費	計	予算外額	備 考
一 交付金等による収入	六、四〇八			六、四〇八	九	
二 雑 収 入	一			一		
三 貸付 金 入	一、九三三〇			一、九三三〇	七九	
四 繰 入 金	一			一		
五 前年度繰越金	一			一		

六市	歳入合計	歳出	計	準備	考
	二,四一		三,四四	二,四一	一〇〇
					二

科	目	当初予算額	至四 月追加 更正額	至十 月追加 更正額	計	予算総額 に對 する 百分比	備	考
一	事務費	一,一七五			一,一七五	五		
二	貸付金	一九二〇〇		三,〇〇〇	二,二二〇	九一		
三	公債費	一,〇三四			一,〇三四	四		
四	諸支出金	一			一			
五	予備費	一			一			
歳出	合計	二,一四一	三,〇〇〇		二,四一	一一〇		

特別会計 社会保険公島市民病院費

科	目	当初予算額	至四 月追加 更正額	至十 月追加 更正額	計	予算総額 に對 する 百分比	備	考
一	同庫支出金	一			一	一〇〇		

二	使用料及手数料	七,六六四	一,五五〇	△一,一〇〇	八,一三四	八七		
三	寄附金	一			一			
四	繰入金			三,〇〇〇	三,〇〇〇	三		
五	雑収入	九〇〇		八,〇〇〇	八,九〇〇	一〇〇		翌年度歳入繰上充同金 八,〇〇〇
歳出	合計	七,七六六	一,五五〇		九,三二六	一一〇		

科	目	当初予算額	至四 月追加 更正額	至十 月追加 更正額	計	予算総額 に對 する 百分比	備	考
一	病院費	七,七六六	一,五五〇		九,三二六	九九		前年度繰上充同金 一,五五〇
二	予備費	五〇〇			五〇〇	一		
歳出	合計	七,七六六	一,五五〇		九,三二六	一〇〇		

特別会計 競輪事業費

科	目	当初予算額	至四 月追加 更正額	至十 月追加 更正額	計	予算総額 に對 する 百分比	備	考
一	競輪事業収入	五,七九七,九五			五,七九七,九五	一〇〇		

使用料及手数料	1756				
入場料収入	1448				
車券売上収入	576444				
雑収入	1434				
通年度収入	1				
歳入合計	579795				

歳出

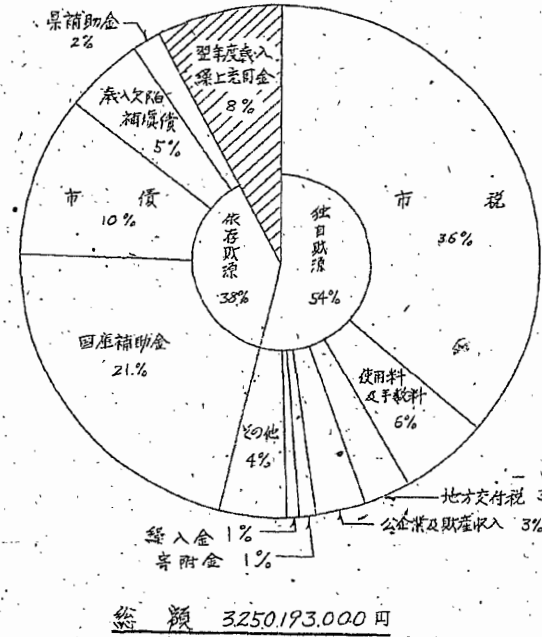
科 目	当初予算額	至四月初 追加更正 算額	至二月初 追加更正 算額	計	予算残額 千分比	備 考
競輪事業費	579295			579295	100%	
事務費	12555			12555		
開催費	89298			89298		
諸費	477642			477642	82%	繰入金 344444
予備費	500			500		
歳出合計	579795			579795	100%	

その他の特別会計

冷 計 別	当初予算額	至四月初 追加更正 算額	至二月初 追加更正 算額	計	備 考
用品調達費	11443			11443	繰入金 344444
奨学資金	2			2	
就職貸付資金	773			773	繰入金 166444
天清町外部落有財産	1			1	
公会堂費	7258		262	7520	
平和記念館費		4415		4415	繰入金 125444
計	19437	4415	262	20114	

3 昭和三十年度予算财源一览表(统计)

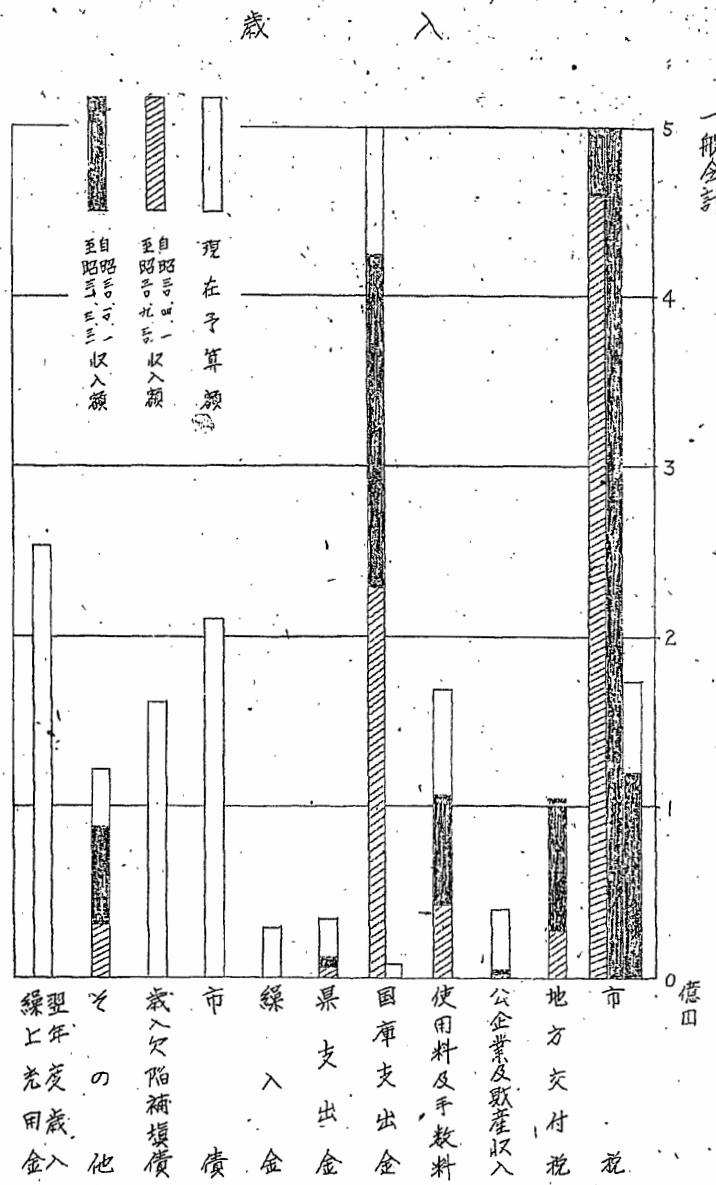
但、特别会计公益质屋费、市民病院费、拨给事业费を除く



総額 3,250,193,000円	
依存取入	独自取入
国库補助金 703,498,000円	市税 1,175,807,000円
県補助金 56,689,000円	地方交付税 100,000,000円
市債 324,550,000円	公企業及財産收入 98,949,000円
県交付補助債 161,000,000円	使用料及手数料 178,176,000円
計 1,245,737,000円	寄附金 34,365,000円
翌年度歳入繰上充用金	雑入金 30,000,000円
253,000,000円	その他 134,159,000円
	計 1,787,456,000円

4 昭和三十年度予算取源調

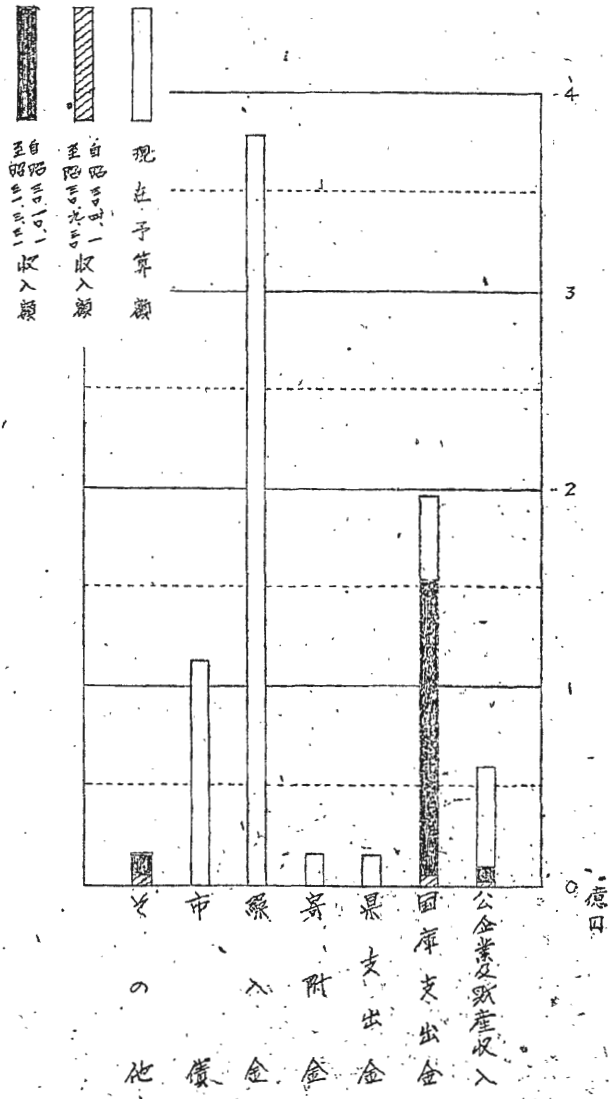
費目	予算額	取源	内	債
費目				
貸出金	52,559			
新築費	475,555			
公平委員会費	45,6			
消防費	1,136,3			
土木費	7,888,5			
教育費	48,492,1			
社会労働施設費	623,837			
保健衛生費	1,680,077			
産業経済費	945,494			
財産費	2,435,8			
総計調査費	44,511			
選挙費	1,762,8			
公債費	1,118,11			
		市税	1,175,807,000	
		地方交付税	100,000,000	
		公企業及財産収入	98,949,000	
		使用料及手数料	178,176,000	
		寄附金	34,365,000	
		雑入金	30,000,000	
		その他	134,159,000	
		計	1,787,456,000	
		国庫補助金	703,498,000	
		県補助金	56,689,000	
		市債	324,550,000	
		県交付補助債	161,000,000	
		計	1,245,737,000	
		翌年度歳入繰上充用金	253,000,000	



(一) 昭和三十年度各会計収入支出の状況
— 昭和三十年度各会計収入支出の状況

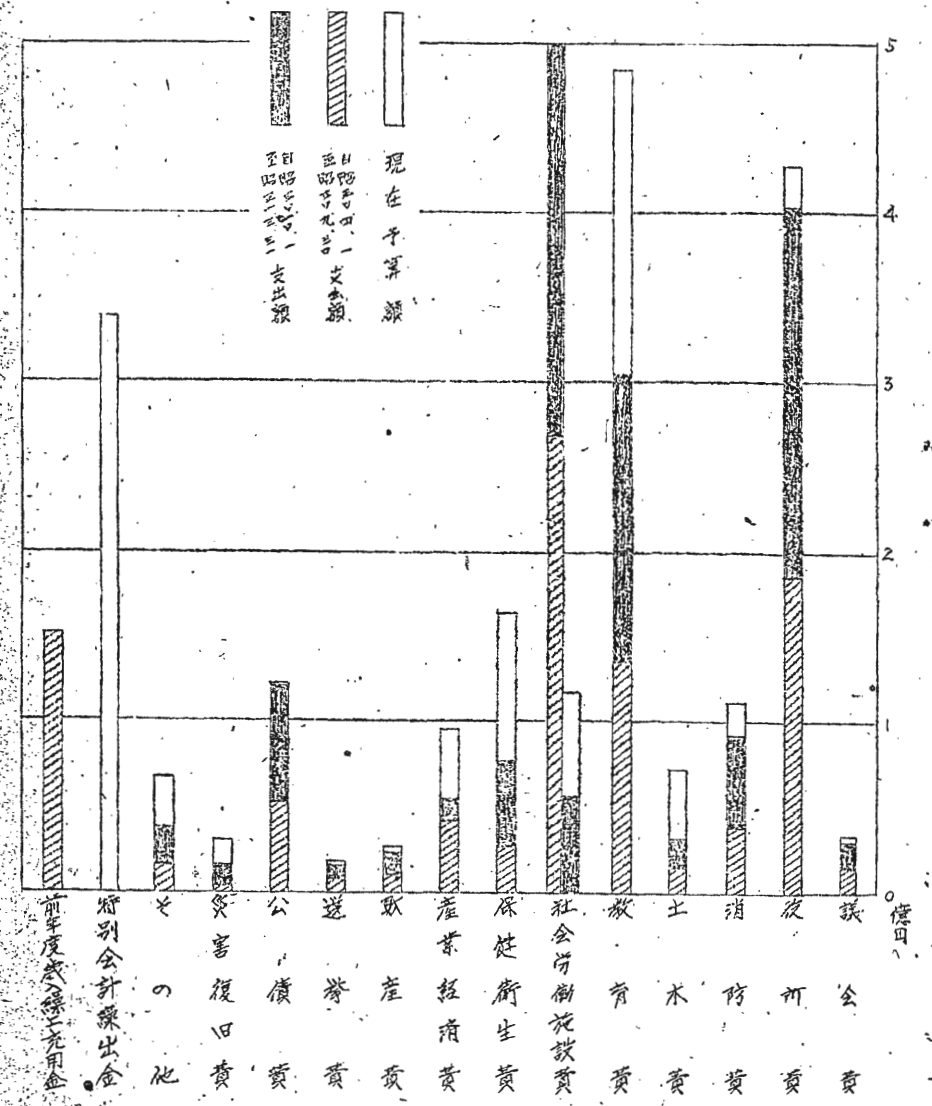
合 計	特別会計	平和記念館費	公 会 堂 費	建 設 費	天橋町外部添付財産	就職交付資金	奨 学 資 金	用品調達費	一般会計	予 借 費	諸 支 出 金	災害復旧費	監査委員費	輸 送 費
三、五〇、一九三	八、九、九八七	四、四一五	七、五〇〇	八、五、八七三	一	七、七三	二	一一、四〇三	二、〇、〇〇六	三、〇、〇〇〇	二、〇、〇、七三三	三、〇、四、六一	三、〇、一、七	四、〇、一、〇
九、九、四九	五、八、六六六			五、八、六六六	一				四、〇、三、三六〇					
二、六、八七〇									一、六、八、五五〇					
一、八、一七六	九、九、七二	四、三、八八	七、五、一九	一一、五、一七〇、〇九					一、六、八、五五〇		一、八、一、一一			
七、〇、三四九	一、七、〇、三九			三、〇、五、三三					五、六、四、五九		一、八、〇、九九〇			
五、六、六八	二、〇、四、三			二、〇、〇、〇〇					五、六、三、六六		一、五、八、一一			
三、四、五、五	三、〇、〇、〇	一		二、〇、〇、〇〇					一、四、八、六四					
一、七、七、七六	三、八、一、六九	一	一	一、九、五、五九		六、七		六、〇、一	八、九、六、六〇		一、八、六、一一			
三、三、四、五五	二、二、〇、五〇			二、三、三、五〇					三、三、三、三〇			七、三、〇、〇〇		
二、三、〇、九八〇	三、八、六、六六			三、六、六、九三		一、六、六		三、五、〇	一、八、七、八四	五、〇、〇、〇〇	二、〇、〇、〇、〇〇	五、一、七、五	三、〇、〇、〇〇	五、〇、一、〇

歳入



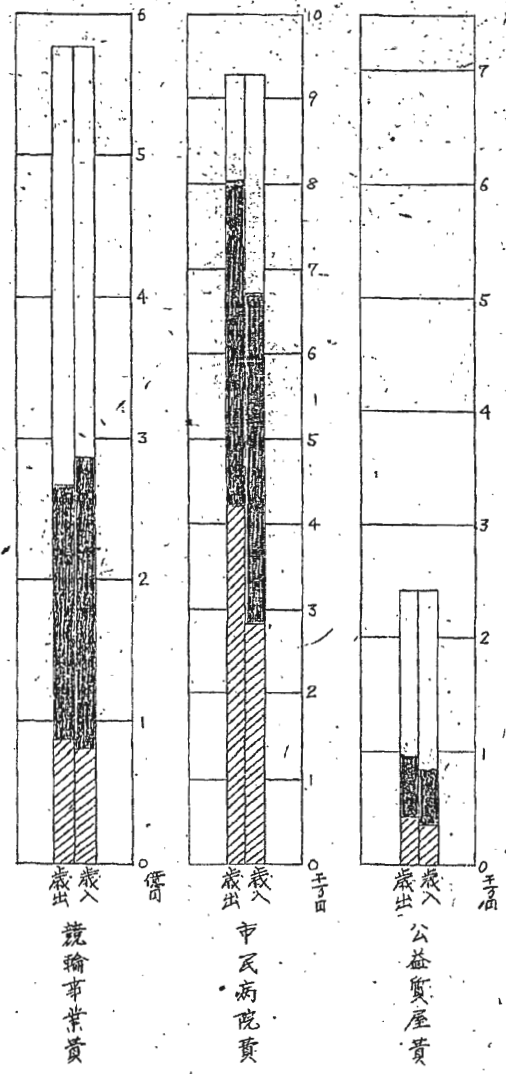
特別会計 建設費

歳出



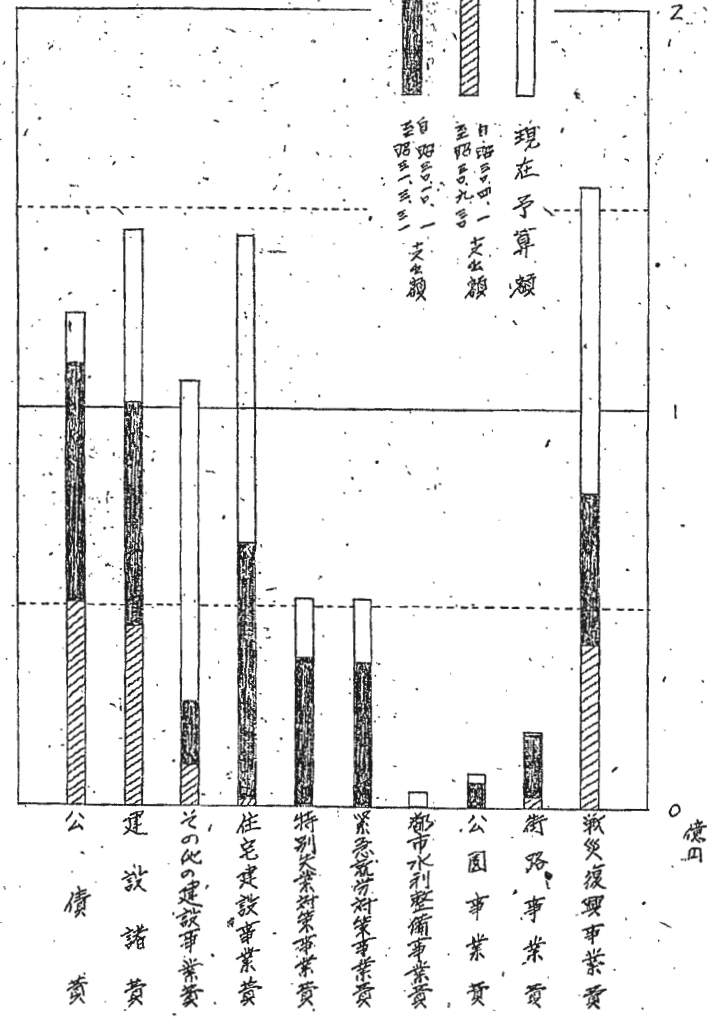
出 裁

現在予算額
 自昭三四年一収金額
 自昭三五年一収金額



特別会計 公益質屋費 市民病院費 競輪事業費

現在予算額
 自昭三四年一支出額
 自昭三五年一支出額



億円

その他の特別会計

会計別	現在予算額	至三月三十一日 収入額	至三月三十一日 収入額	計	収入額	至三月三十一日 支出額	至三月三十一日 支出額	計	支出額 予算額
会 計									
用品調達費	一、四〇三	二五五	四八三	七三六	六五	三七九	五〇七	八八〇	七七
奨 学 資 金	二								
就職貸付資金	七七三			七五	一〇			七七	一〇
天清町外部落有財産	一								
公 会 堂 費	六五二〇	三二四六	三九三三	七〇七九	一九四	一七九一	三〇七〇	四八三〇	六四
平祝記念館費	四、四一五	二四四	五五四	七五八	一七	一、〇〇〇	二、三三九	三、三三九	七五

逆次繰越分

特別会計建設費

第一期下水道築造事業費本年度支出額

項 目	逆次繰越額	至三月三十一日 支出額	至三月三十一日 支出額	計	支出額 繰越額	備 考
下水道築造費	三六、八〇〇	五、九七七	一、三、一〇八	一八、〇八五	四九	

2. 主なる事業調

昭和三十年度においいて実施いたしました主なる事業は次の通りであります。

費 目 事 業	事業費 (決算見込)	国庫補助金 市 債	債 内 他 款	備 考
被褥機掃管及公電気設備工事	三、四一〇			
比治山出張所建設工事 (昭和二十九年逆次繰越分)	九二〇			
庁舎地下電気設備その他改修工事	一、三六〇			
庁舎屋上防水工事	九二〇			
火災報知機設置工事	三、三五〇	九二〇		
消防費	四、六八四	一、〇〇〇	四、〇〇〇	消防自動車一台、三輪ポンプ一台、救急車一台、二台、ポンプ一台
消防機材整備	三、九五〇			
道路舗装新設工事	八、八三七			
道路舗装補修工事	三、三四六			
道路改良工事	三、八九〇			

土木費			
砂利道補修工事	三九一八		
街路築造工事	八五六		
道路坂々跡復旧受託工事	一〇三六		
道路舗装補修直営工事	四一九一		一〇三六
乙斐駅前道路用地買収	三、〇九一		三、〇九一
播磨段々補修各地質調査工事	七三二二		七三二二
河川港河補修工事	一、一五九		一、一五九
広島県旅行工事受託金 (広島港湾修理事業その他)	八五九九		八五九九
児童文化会館内外装工事	一、四四〇		一、四四〇
浅野図書館建設工事 (義務受託金)	八、〇〇〇		八、〇〇〇
小学校建設その他工事	五七、四二三	一六、三七八	
中学校建設その他工事	一八、三五五	九、一三一	四、九五〇
高等学校建設その他工事 (昭和二十九年及繰越分)	一、一〇五四	五、四五六	
小学校建設その他工事 (昭和二十九年及繰越分)	六三、九一四	二一、八三九	三、〇〇〇
			三、九〇八

教育費			
中学校建設その他工事 (昭和二十九年及繰越分)	三七、三二二	三、三八三	二、三九三
受託学校復旧工事	一、三〇〇	五、五〇〇	八一、二八
児童対策事業	二九七、七五九	一七、〇三九	三、八七六
児童対策特別事業	一七、七六一	一、〇三二	七、〇八
幼稚園新築工事			
公園施設整備工事	五九四		五九四
市港死没者骨所設置工事	一、〇九二		一、〇九二
保健所自動車その他機械整備	六一七七	六、七六	一、四五三
私設下水道取付工事 (受託工事を含む)	六、七七二		四、五〇三
下水管布設工事	三、〇一一		三、〇一一
樋門止水及排水所補修工事	二、四二五		二、四二五
道路坂々跡復旧受託工事	七九四		七九四
汚物処理用自動車整備	二、〇四五		二、〇四五
と畜場建設工事	三、九	一、〇、〇、〇、〇	二、九、九、一
			九、九、九、一

社会生活費

保健衛生費

別途二十一年度繰越
四五、四九二、〇四

別途二十一年度繰越
一七、九四二、〇四

別途二十一年度繰越
四、五七、〇四

別途二十一年度繰越
一八、七、〇四

昭和三十年度分		昭和三十一年度入繰越
防火建築帯造成事業	四八九	二四四
下水道築造事業	四,四四四	四,四四四
住宅地造成事業	二,七二六	二,七二六
換地仮清算金交付	一,六四八	一,六四八
確定測量補正	一,〇七七	一,〇七七
仮設住宅新築及補修工事	八九七	八九七
愛宕町鉄道踏切拡張工事	七一九	七一九
町名地番設定準備	五二五	五二五
高天原墓苑用地補償	四,三〇七	四,三〇七
倉島裏旅行道路鋪装工事負担	一,六二〇	一,六二〇
資料館整備工事	一,六八四	一,六八四
庚子町附近土地区画整理	八四一〇	四三
公島取改築工事委託	三,七〇四	三,七〇四
		別途三十一年度入繰越 二,九〇〇,〇〇〇

昭和三十一年度入繰越		昭和三十一年度分
国鉄建物移転補償	一,〇九六	一,〇九六
南面貯油地埋立その他工事	三,七〇八	三,七〇八
市民病院前広場整備工事	七六〇	七六〇
市民病院隈家調和機之区購入	九七〇	九七〇
運輸事業費	三,五〇〇	三,五〇〇
特別会計	計	計
	一,二一八,一七二	四,八二六,〇〇四
	五四,五九五九	二,〇七六,三六六
	二,七二〇	一,〇二〇,〇〇〇
	一,八三三九	一,八三三九
	二,一八〇,九四	三,二〇〇
	三六,三一九	四,二二,九三九
	四,八二六,〇〇四	二,七四三,三〇〇
	一,二一八,一七二	三六,三一九
	五四,五九五九	二,一八〇,九四
	二,七二〇	一,八三三九
	一,八三三九	三,二〇〇
	二,一八〇,九四	四,二二,九三九
	三六,三一九	二,七四三,三〇〇
	四,八二六,〇〇四	一,二一八,一七二
		五四,五九五九
		二,七二〇
		一,八三三九
		二,一八〇,九四
		三六,三一九
		四,八二六,〇〇四

三 市民の負担状況

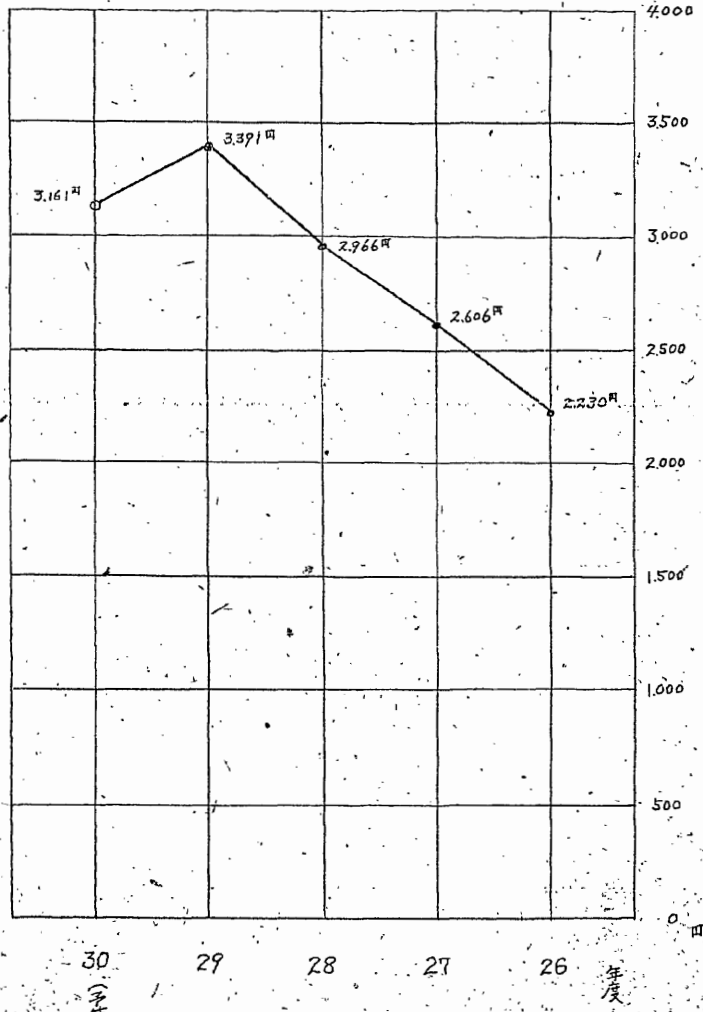
(一) 昭和三十年度市税の負担状況

人口 三七、一九七五人
 世帯数 九五九二六世帯

昭和三十一年三月三十一日現在

合 計	旧法による 収入	普 通 税					区 分	予 算 額	一人当り 負担額	一世帯当り 負担額	備 考
		木 材 取 引 税	電 気 カ ス 税	た ば こ 消 費 税	自 動 車 荷 車 税	固 定 資 産 税					
一、七五八、〇〇〇	七、二〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇	二、六一四、〇〇〇	一、〇二二、〇〇〇	一、三三二、〇〇〇	四、九二七、〇〇〇	五、一七八、〇〇〇	一、三九二	五、三九八		
三、一六一	二〇		三、一三二	二、七四	三、六	一、一三三					
二、二二五	七五		一、一三二	一、〇六三	一、三九	四、三七一					

(二) 市税の市民一人当り負担額調(各年度比較表)



30 (世帯数)

年度

四 敗産・公債及び一時借入金の状況

(一) 市有敗産

昭和三十一年三月三十一日現在

土 地 六九三、九四四坪八二
 建 物 一三七、八四五坪五九三
 基金 資 金 三、五一五、九九八四

(二) 公 債

借入金別市債現在高調

昭和三十一年三月三十一日現在

借 入 先 別	当初借入額	既償還額	未償還額	百分比	備 考
大蔵省資金運用部	一、三九七、一一二	一、七二一、一一一	六二五、〇〇一	七〇%	
郵政省簡易保険局	二、六二一、一〇〇		二、六二一、一〇〇	一五	
交 付 公 債	一、四八、八七七		一、四八、八七七	八	
銀行その他の他	一、一八三、六五三	五、四、六四七	一、一七九、〇〇六	七	
計	一、九九一、七四二	二、二六、七五八	一、七六四、九八四	一〇〇	

乙 費目別市債現在高調

昭和三十一年三月三十一日現在

費 目 別	当初借入額	既償還額	未償還額	百分比	備 考
警 察 消 防 費	三、四、六〇〇	一、〇、八三〇	二、三、七七〇	一	
土 木 費	五、一、七五五	三、三、六六一	一、八、一八四	三七	
教 育 費	三、七、〇三九	三、一、三九五	三、三、九三六	一九	
社会労働施設費	五、四、三二四	七、二、八八六	四、七、〇三八	二七	
保健衛生費	二、八、五六二	二、八、四四九	二、五、八一三	一五	
産業経済費	六、二、五〇〇	二、三、九九五	三、八、五〇五	二	
災害復旧費	一、三、五九三	六、八一	一、三、九一三	七	
戦災復旧費	一、九、〇〇〇	七、〇八〇	一、一、九二〇	一	
その他の他	二、一、六三一	一、一、六七一	九、九六四	一	
計	一、九、九一、七四二	二、二、六、七五八	一、七、六、四、九八四	一〇〇	

(三) 一時借入金

財政調整資金

借入先	借入額	償還額	残額	借入年月日	利率	備考
公島銀行	1,200,000		1,200,000	34年4月2日	二銭四厘	
郵政省簡易保険局	150,000	150,000		34年8月1日	一銭八厘	
大蔵省資金運用部	300,000	300,000		34年8月1日	一銭八厘	
公島銀行	200,000	100,000		34年6月31日	二銭四厘	
公島銀行	300,000	300,000		34年8月1日	二銭四厘	
公島銀行	300,000	130,000		34年8月1日	二銭四厘	一部繰上償還
公島銀行	400,000	170,000		34年8月1日	二銭四厘	
大蔵省資金運用部	300,000	150,000	150,000	34年7月31日	一銭八厘	一部繰上償還
郵政省簡易保険局	150,000	150,000		34年7月31日	一銭八厘	

郵政省簡易保険局	150,000	150,000		34年8月1日	一銭八厘	
大蔵省資金運用部	200,000	200,000		34年9月1日	一銭八厘	
大蔵省資金運用部	300,000	300,000		34年11月1日	一銭八厘	
公島銀行	500,000	500,000		34年11月1日	二銭四厘	
大蔵省資金運用部	250,000	250,000		34年11月1日	一銭八厘	
大蔵省資金運用部	150,000	150,000		34年12月1日	一銭八厘	
公島銀行	350,000	350,000		34年12月1日	二銭三厘	
公島銀行	700,000	700,000		34年12月1日	二銭三厘	
郵政省簡易保険局	150,000	150,000		34年12月1日	一銭八厘	
郵政省簡易保険局	150,000	150,000		34年12月1日	一銭八厘	
公島銀行	280,000		280,000	34年11月1日	二銭四厘	
大蔵省資金運用部	300,000		300,000	34年11月1日	一銭八厘	
大蔵省資金運用部	200,000		200,000	34年11月1日	一銭八厘	
大蔵省資金運用部	200,000		200,000	34年11月1日	一銭八厘	

大蔵省 資金運用部	六、〇〇〇	一五、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、一〇九	一銭八厘	二銭三厘上 部繰上償還
--------------	-------	--------	-------	-------	-------	------	----------------

乙、起債前借金

借入先	借入額	長期債へ借替 又は償還額	残額	借入 借替償還	年月日	利率	備考
郵政省 簡易保険局	一五、〇〇〇		一五、〇〇〇	三、〇〇〇	三〇年一月二日	一銭八厘	
郵政省 簡易保険局	七、〇〇〇		七、〇〇〇	三、〇〇〇	一〇年三月一日	一銭八厘	
郵政省 簡易保険局	三、〇〇〇	三、〇〇〇		三、〇〇〇	二二	一銭八厘	
大蔵省 資金運用部	三、〇〇〇	三、〇〇〇		三、〇〇〇	二二	一銭八厘	
郵政省 簡易保険局	二、〇〇〇	二、〇〇〇		三、〇〇〇	二四	一銭八厘	
郵政省 簡易保険局	三、〇〇〇		三、〇〇〇	三、〇〇〇	二二	一銭八厘	
郵政省 簡易保険局	三、〇〇〇		三、〇〇〇	三、〇〇〇	三二	一銭八厘	
郵政省 簡易保険局	一九、〇〇〇		一九、〇〇〇	三、〇〇〇	三六	一銭八厘	
郵政省 簡易保険局	五、〇〇〇		五、〇〇〇	三、〇〇〇	三六	一銭八厘	

郵政省 簡易保険局	三、五〇〇		三、五〇〇	三、〇〇〇	一五	二銭八厘	
郵政省 簡易保険局	五、〇〇〇		五、〇〇〇	三、〇〇〇	一五	一銭八厘	
郵政省 簡易保険局	五、〇〇〇		五、〇〇〇	三、〇〇〇	二〇	一銭八厘	

志す

以上が昭和三十年度下半期の本市財政の状況であります。決算の状況につきまして、
回十一月八公表の「詳細説明」いたしましたことといたす。

なお、今後の本市財政の運営につきましては、地方財政促進特別措置法の主旨に則り、
自力財政再建の方針を堅持し、財政の早期確立を図りたいと思っております。

市民の皆様も本市行政に深く御理解をいただき、向後の市政発展に今一層の御協力を
賜りますようお願いいたします。